

第18回「岡山生命倫理研究会」の御案内

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領にて第18回「岡山生命倫理研究会」（という名の勉強会）を開催いたしますので御案内申し上げます。今回はとくに生殖医療に特化して議論します。

御参加いただける場合、その旨、守屋直子 moriya-n@cc.okayama-u.ac.jp（岡山大・生命倫理学分野事務室）宛てに、6月19日（日）までに御一報いただければ幸いです。懇親会（研究会終了後）参加希望の有無も同時にお知らせいただければ幸いです。なお、今回は岡山大・中塚科研（「死後生殖の是非に関する学際的研究」）研究会との合同開催です。

記

日時：2011年6月25日（土）午後1時30分～6時40分

場所：岡山市北区鹿田町2-5-1 岡山大学鹿田キャンパス基礎医学棟
3階「医療情報演習室」（生命倫理学分野の隣）

演題（1）「出生前診断をめぐる倫理問題—出生前診断研究会の最新の議論を踏まえて—」
斎藤伸道（福岡・新古賀病院医師：産婦人科）
午後1時30分～2時30分（報告25分+質疑応答35分）

演題（2）「着床前診断をめぐる倫理問題—本邦の学会見解とその問題点を踏まえて—」
岸本廉夫（岡山・玉野市立玉野市民病院診療部長：産婦人科）
午後2時30分～3時30分（報告25分+質疑応答35分）

休憩 午後3時30分～3時40分

演題（3）「人工妊娠中絶をめぐる倫理問題—さまざまな主張と医療者にとって悩ましい問題—」
中井祐一郎（川崎医科大学医学部産婦人科学教室准教授）
午後3時40分～4時30分（報告20分+質疑応答30分）

演題（4）「死後生殖をめぐる倫理問題—配偶子・性腺凍結保存の行方—」
中塚幹也（岡山大学大学院保健学研究科教授[産婦人科学]）

午後4時30分～5時20分（報告20分+質疑応答30分）

休憩 午後5時20分～5時30分

演題（5）「イスラエル生殖医療法」

フランク・イェルハム・レービット（イスラエル・ベングリオン大学 講師）

午後5時30分～6時10分（報告20分+質疑応答20分）

総合討論 午後6時10分～6時40分

コメンテーター：村岡潔（佛教大学社会福祉学部教授[医師]）

コメンテーター：水田美由紀（岡山弁護士会[弁護士]）

司会（世話人）：山下登（岡山大学大学院法務研究科教授）

司会・通訳（世話人）：虫明茂（就実大学人文科学部教授）

責任者（代表世話人）：栗屋剛（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

栗屋 剛（あわや つよし） E-mail : t-awaya@nifty.ne.jp

携帯電話：090-3377-6800 携帯メール：tsuyoshi121325abcd@docomo.ne.jp

個人ホームページ：http://homepage1.nifty.com/awaya

~~~~~

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 生命倫理学分野

<岡山市鹿田町 2-5-1 (〒700-8558) Tel: 086-235-6742 Fax:086-235-6619>

\*\*\*\*\*